事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51321	小規模下水道施設整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートA	2
51321	中央処理区管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	3
51321	西部処理区管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	5
51321	北部処理区管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	7
51321	北条処理区管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	9
51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	11
51321	上野処理区管渠整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	13
21131	河川水路事務事業(企業会計)	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートA	15
21132	雨水管渠等整備事業	公営企業局(下水道整備担当)	下水道整備課	シートB	16

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博		

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	小規模下水道施設整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備				主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約		-			
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進				-			
総合戦略		基本目標 -	取組み	-				
		政策 -						
		施策 -						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市小規模下水道条例							
事業の目的（どのような状態にするか）	大浦地区を小規模下水道事業として整備し、住民の快適な生活環境を提供する。							
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。							
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	大浦地区 処理面積17．9ha、208人を対象に、家屋の新築時に申請者に対して宅内桝を設置する。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期（年度）	昭和	57 ～ 令和	2	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	小規模下水道特別会計	款	小規模下水道事業費	項	小規模下水道事業費	目	総務管理費	R2予算措置時期		

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		0	0	0
決算額（B）（単位：千円）		0	0	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			事業実施なし	
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等			事業実施なし R2年度事業終了	
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	0	0	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度（R2年度）の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	申請箇所なしのため事業実施なし					
主な取組み内容の達成度		↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	R2年度は事業実施実績なし		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	4:どちらもいえない	左記の理由	R2年度は申請がなく事業実施がなかったため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標		R3年度の主な取組み内容（予定含む）		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	中央処理区担当	連絡先	948-6541			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹 西森 裕司	担当者名	副主幹	林 昌宏		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	中央処理区担当	連絡先	948-6541			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹 西森 裕司	担当者名	副主幹	林 昌宏		

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	中央処理区管渠整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備				主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約		-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想						
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。						
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	中央浄化センターに流入する区域(3464.2ha)のうち事業計画区域内(3219.6ha)の249,100人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）	昭和	32 ～ 令和	3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		1,122,438	1,064,435	1,008,933
決算額(B)（単位:千円）		560,748	554,348	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	109,331	93,231	197,083
	県支出金	0	0	0
	市債	368,600	392,100	776,828
	その他	82,817	69,017	35,022
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			工事請負費 467,143千円 委託料 67,817千円 補償費 17,594千円	工事請負費 803,281千円 委託料 143,614千円 補償費 62,027千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等			決算額のうち431,287千円は前年度繰越分 流用による減あり	予算額のうち346,410千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	561,690	510,087	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	石井・久米・桑原地区の管渠整備を実施する。					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	中央1号汚水管工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博	

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	西部処理区管渠整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備				主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約		-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想						
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。						
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	西部浄化センターに流入する区域(2，354．0ha)のうち、事業計画区域内(2，134．4ha)の124，720人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）	昭和	59 ～ 令和	3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	3月補正	繰越

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		1,905,310	2,746,767	2,383,395
決算額(B)（単位:千円）		666,887	1,451,333	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	80,952	362,657	653,705
	県支出金	0	0	0
	市債	462,900	905,600	1,643,051
	その他	123,035	183,076	86,639
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			工事請負費 1,326,100千円 委託料 103,452千円 補償費 16,626千円	工事請負費 1,875,505千円 委託料 410,473千円 補償費 96,217千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等			決算額のうち1,409,336千円は前年度繰越分 3月補正で25,000千円追加 流用による減あり	予算額のうち1,237,942千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	1,238,423	1,295,434	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	味生・宮前・久枝・清水地区の管渠整備を実施する。					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・久枝2号汚水幹線工事 ・山越1号汚水管工事 ・中須賀3号汚水管工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博		

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	北部処理区管渠整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備				主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約		-			
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進				-			
総合戦略		基本目標 -	取組み	-				
		政策 -						
		施策 -						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想							
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。							
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	北部浄化センターに流入する区域(531．9ha)のうち、事業計画区域内(399．1ha)の16，480人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期（年度）	平成	7 ～	令和	3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		1,039,952	449,529	551,449
決算額(B)（単位:千円）		717,673	228,320	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	120,091	25,492	87,855
	県支出金	0	0	0
	市債	501,800	168,400	447,203
	その他	95,782	34,428	16,391
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			工事請負費 169,404千円 委託料 18,604千円 補償費 39,924千円	工事請負費 409,876千円 委託料 53,358千円 補償費 88,215千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等			決算額のうち205,441千円は前年度繰越分 流用による増あり	予算額のうち203,301千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	322,279	221,209	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	堀江・内宮地区の管渠整備を実施する。					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	内宮汚水管工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博	

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	北条処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる		重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備		主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進	市長公約	-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進		-		
総合戦略	基本目標 - / 政策 - / 施策 -	取組み	-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。				
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。				
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	北条浄化センターに流入する区域(541．6ha)のうち、事業計画区域内(541．6ha)の17,730人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。				
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期（年度）	昭和 50 ～ 令和 3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		15,211	15,975	12,312
決算額(B)（単位:千円）		253	294	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	540
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	11,772
	その他	253	294	0
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			委託料 176千円	工事請負費 11,964千円 委託料 94千円 補償費 254千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等				予算額のうち7,580千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	14,958	15,681	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	地元調整及び現地調査					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	計画的な管渠整備により、徐々に生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	難波3号汚水管工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名		西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博		

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備				主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約		-			
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進				-			
総合戦略		基本目標 -	取組み	-				
		政策 -						
		施策 -						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想							
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
背景（どのような経緯で開始したか）	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。							
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	浅海処理区の事業計画区域内(46．6ha)の910人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期（年度）	平成	3 ～	令和	3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		800	800	400
決算額(B)（単位:千円）		0	0	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	400
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			予算執行なし	工事請負費 300千円 委託料 100千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	800	800	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	地元調整及び現地調査					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	計画的な管渠整備により、徐々に生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	浅単-21001汚水管工事に伴う実施設計委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	寳田 要	担当者名	副主幹	伊与田 亮	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当		連絡先	948-6543		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	奥村 栄二	ﾘｰﾀﾞｰ名	主幹	川口 征英	担当者名	副主幹	藤家 孝博	

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	51321	上野処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる		重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備		主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進	市長公約	-		
取り組みの柱	下水道管渠整備の推進		-		
総合戦略	基本目標 - / 政策 - / 施策 -	取組み	-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
事業の目的（どのような状態にするか）	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。				
背景（どのような経緯で開始したか）	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山市公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うこととなった。				
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	上野地区の事業計画区域内（5．1ha）の338人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。				
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期（年度）	平成 30 ～ 令和 3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業会計	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	繰越

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		37,107	11,881	12,321
決算額(B)（単位:千円）		27,639	3,058	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	6,506	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	16,500	1,800	12,121
	その他	4,633	1,258	200
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			工事請負費 2,078千円 委託料 961千円	工事請負費 9,000千円 委託料 1,141千円 補償費 2,180千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等			決算額のうち2,078千円は前年度繰越分 流用による増あり	予算額のうち5,590千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	9,468	8,823	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	上野地区の管渠整備を実施する。					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	下水道処理人口普及率65.0%	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・上野町宅内桝設置工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備面積	ha	目標値	5,072.3	5,121.5	5,164.7	5,206.9	5,251.2	目標値	5,470.4
			実績値	5,082.0	5,171.8	5,246.4			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.2	101.0	101.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	下水道処理人口普及率 （市内5処理区）	%	目標値	63.0	63.6	64.3	65.0	65.6	目標値	69.0
			実績値	63.0	63.8	64.7			達成年度	R8年度
		%	達成度	100.0	100.3	100.6				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名		総務担当	連絡先	948-6540			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	青山 正洋	担当者名	主事	伊藤 良輔		
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名		総務担当	連絡先	948-6539			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	松田 理奈	主事	伊藤 良輔

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	21131	河川水路事務事業（企業会計）			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる				重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約		-		
取り組みの柱	河川改修の推進				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的（どのような状態にするか）	浸水対策を担う職員の専門知識や技術の向上を図り、第一線で活躍できる人材を育成する。						
背景（どのような経緯で開始したか）	浸水対策の実施にあたり、内部管理事務として開始						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	河川水路課職員（浸水対策担当）が河川水路課の浸水対策にかかる業務遂行にあたり、必要な知識、技能の取得、向上を図るため各種研修会への参加を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）		～ 令和	2	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道会計	款	下水道事業費用	項	営業費用	目	総係費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		488	3,526	0
決算額（B）（単位：千円）		379	1,815	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	379	1,815	0
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			印刷製本費:1,815千円	
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等			組織統合により廃止	
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	109	1,711	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度（R2年度）の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	内水ハザードマップの増刷					
主な取組み内容の達成度		↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	研修が中止になったため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	4:どちらもいえない	左記の理由	内部管理業務のため			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標			R3年度の主な取組み内容（予定含む）		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートB＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名		浸水対策担当	連絡先	948-6957			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	西本 義明	担当者名	主査	奥野 翔太	主任	三浦 良輔
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名		浸水対策担当	連絡先	948-6957			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	ﾘｰﾀﾞｰ名	主査	西本 義明	担当者名	主査	奥野 翔太	技師	松原 次郎

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	21132	雨水管渠等整備事業			事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分 4:工事（工事に伴う設計委託含む）
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる				重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約		-		
取り組みの柱	浸水対策の推進				-		
総合戦略	4223	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる（持続可能なまちづくり） 政策 ②生活の質と都市力の向上 施策 ②安全・安心な暮らしの推進	取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルートを確保するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、都市計画法、第4次松山市下水道整備基本構想						
事業の目的（どのような状態にするか）	雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全・安心を確保する。						
背景（どのような経緯で開始したか）	公共下水道処理区内の排水路は、宅地化に伴い遊休池が激減したうえに在来水路が不良のため、降雨時に浸水が生じ生活環境が悪化しているため。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	基本構想で定める9地区の浸水被害区域に対し、浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を実施する。 (株)翔調査設計事務所外へ委託料を支出 (株)森田組外へ工事請負費を支出						
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）	平成	20 ～ 令和	8	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費	R2 予算措置時期	当初	3月補正

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額(A)（単位:千円）		1,004,199	1,600,464	1,848,921
決算額(B)（単位:千円）		342,087	635,585	
内訳（単位:千円）※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	106,784	179,706	1,493,458
	県支出金	0	0	0
	市債	133,200	234,600	262,621
	その他	0	0	0
	一般財源	102,103	221,279	92,842
主な経費（単位:千円）※R2→決算,R3→予算			委託料:47,121千円 工事請負費:527,331千円 補償費:60,306千円	委託料:136,420千円 工事請負費:1,659,205千円 補償費:53,296千円
特記事項（単位:千円）※繰越,補正,流用,事業統合等			予算額のうち659,429千円は前年度繰越分 決算額のうち601,980千円は前年度繰越分	予算額のうち907,321千円は前年度繰越分
予算執行残額（単位:千円）	(A)-(B)	662,112	964,879	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	山西地区などの6地区の雨水管渠整備					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね計画通りの工事の進捗が図れた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	計画通り雨水管渠の整備を進める事によって、浸水被害の軽減を図れている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	雨水管渠を延伸し、浸水被害の軽減を図る。	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	和泉・古川地区:雨水幹線工事 空港通地区:実施設計業務委託 北条地区:雨水幹線工事 山西地区:雨水幹線工事 東山地区:雨水幹線工事 南江戸地区:実施設計業務委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し	

＜業績の分析＞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量（アウトプット／「市」が何をしたか）
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果（アウトカム／活動の結果、「市民等」がどうなったか）

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	
活動指標 （3つまで設定可）	整備済地区数	地区	目標値	9	9	9	9	9	目標値	9
			実績値	3	3	3			達成年度	R8年度
		%	達成度	33	33	33				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	浸水被害地区における整備地区の事業完了箇所を整備目標値とする。 各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと整備完了箇所数の達成とならない。			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
成果指標 （3つまで設定可）	浸水解消件数	件	目標値	214	214	214	214	214	目標値	214
			実績値	30	30	30			達成年度	R8年度
		%	達成度	14	14	14				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	浸水地区の浸水被害解消件数を目標値とする。 各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とならない。			
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価（達成又は未達成要因の分析）	活動指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度にならないと整備完了箇所数の達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいる。								
	成果指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいる。								
上記の指標以外に,指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容										